

医療用HAL®を導入しました



はくほう会セントラル病院は世界初のロボット治療機器である医療用HAL®を導入しました。この医療用HAL®は医療用途を目的として開発されたものであり、患者様の治療に使用するものです。

※今後は医療用HAL®によるサイバニック治療の拠点病院（独立行政法人国立病院機構 徳島病院様）を中心とした新たな医療連携を通じ、患者様の治療を実施していきます。



- ①「歩きたい」と考えると、脚を動かそうとする電気信号が脳から神経を通じて筋肉に流れます。
- ②この時、皮膚表面に漏れ出た微弱な生体電位信号を皮膚に貼り付けたセンサーが検出します。
- ③動かしたいという意思に従ってHAL®がアシストしてくれます。
- ④HAL®のアシストにより、正しい運動を繰り返して行えます。
これにより、脳は正しい運動を覚える事ができます。「歩けた」という感覚のフィードバックが脳へ送られ、これにより脳は歩くために必要な信号を少しずつ学習する事ができると考えられています（interactive Bio Feedback理論）
- ⑤歩く練習ができるので、「歩きたい」意欲を引き出せます。

医療用HAL®を導入しました



医療用HAL®を使用した治療

【対象の方】

・神経筋難病患者様

(保険適用となるのは以下の8疾患: ALS・筋ジス・SMA・SBMA・先天性ミオパチー・遠位型ミオパチー・CMT・封入体筋炎)

・その他、上記適応疾患以外に医師が使用可能と判断した患者様で脳卒中後遺症・脊髄損傷後の不全麻痺患者様など下肢の不自由な方(医療用HAL®の保険は適用外)

【使用条件】

・身長や体重など体型が医療用HAL®と合うこと

(目安は身長145cm～175cm、体重40kg～100kg)

・著しい脊柱、関節の変形がないこと

・ある程度座ることができること(背もたれ無し)

・医療用HAL®使用に関するご理解が得られること

医療用HAL®を導入しました



【お問合せ】

はくほう会セントラル病院 リハビリテーション部

電話番号：06-4960-6800

川端重樹または佃 哲夫 まで

まずは、お気軽にお問合せください。